

月刊

みやぎNPOプラザ情報

1月号

ワン

トゥー

ワン

One to One

ひととひとをつなぐ情報紙

発行日：2005年1月1日
 発行：宮城県民間非営利活動プラザ
 編集：NPO法人社の伝言板ゆるる
 〒983-0851
 宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
 TEL：022-256-0505
 FAX：022-256-0533
 E-mail:plaza@miyagi-npo.gr.jp
 http://www.miyagi-npo.gr.jp/

「One to One」は、県内各地でのさまざまなNPO活動により、ひととひとが信頼でつながって、よりよい市民社会が形成されるよう願いを込めたニュースレターです。

あ たらしい
NPO
社会をつくる

け いりに悩む
あなたのための
会計講座

お うえんします
地域をつくる
あなたの思い

ま すます花盛り
みやぎの
NPO

し みんなの力
あつめて大きな
明日のチカラ

て と手をつなぐ
NPOと
企業行政

め ぎすは
ミッション実現
のために

で あいの数だけ
仲間が増える
交流サロン

と もだちと
気軽に参加
ボランティア

う ごきだす
その一歩を
プラザから

お年玉

寿

新年

本年も
みやぎNPOプラザを
よろしくお願ひ申しあげます。

<もくじ>

- 新市誕生に向けて、子どもたちの可能性と、NPOの新たな挑戦！
- 農村部における「求められる市民の力」～大崎・栗原にて地域フォーラム開催される！
- みやぎNPOプラザ指定管理者公募の申請状況
- 第2回 宮城県NPO等と学校教育との連携推進協議会」開催
- 1月の開催イベント

みやぎNPOプラザでは、地域のNPO支援に取り組んでいます。

新市誕生に向けて、
子どもたちの可能性と、NPOの新たな挑戦！

NPO地域協働実践事業 新市いしのまき ジュニアミーティング
「合併目前！みんなで語ろう、新市いしのまき」
日時 2004年11月20日(土)
場所 石巻文化センター
企画団体 NPO法人いしのまきNPOセンター

宮城県内のみならず、全国的に紆余曲折を経ながら進んでいる広域合併。わが町、石巻市もついに悲願の合併がこの春、石巻市・河北町・雄勝町・河南町・桃生町・北上町・牡鹿町の1市6町で実現します。



そこで、多くの子どもたちや市民に、合併の概要を知ってもらい、「新市いしのまき」の今後の地域づくりについて、若い世代の考え方や期待することを議論し提案する場を持ちたいと考え、このミーティングを企画いたしました。開催にあたり、実行委員(お世



話役)とパネリストを、圏域の各中学・高校から生徒会役員を中心に選任、事前学習&説明会ならびに事前広報活動のお手伝いをお願いし、協働参画型で準備をすすめることが今回のねらいのひとつでありました。本番は、奇しくも桃生町議会の合併議案採決の翌日である11月20日、石巻文化センター大ホールを会場に行われました。当日は、会場設営はもちろん、受付・舞台準備・音響・司会進行、そしてパネリストなど、それぞれが役割を担い、しっかりやってくれました。

土井市長はじめ各関係機関からの来賓も多数おいでいただき、「いまどき」の音楽やBGMを彼らの感覚で駆使しながらにぎやかに開会。

第1部は、現在、市や各町で発行している住民説明会資料やその他の情報をもとに、パソコンのパワーポイントを使って広域合併についてのプレゼンテーション。来場いただいた方々には「わかった」という感想を頂戴し、作成した当NPOセンターチームも安堵の表情。

その後の第2部は、石巻を考える女性の会が企画した、地元小学生による「こどもいしのまき！わくわく体験隊」体験活動発表会。わくわく体験隊のこどもたちは、今年5月から7ヶ月かけて、1市6町全てを周り、目で見て感じたことを素直なことばで発表してくれました。

そして、いよいよ第3部。土井喜美夫市長(今回は石巻地域広域合併協議会会長としてですが)vs中学生代表3名・高校生代表10名によるパネルディスカッション。コーディネーターの当センター理事、現役の教頭先生でもある男沢氏も汗だく、パワフルな発言が盛りだくさんのパネル討論となりました。「“中総体”の大会の枠組はどうなるの?」「公務員の新規採用はあるの?」「雇用問題を解決するための具体策は?」身近で率直な内容が多く飛び交いました。

今回の事業を通して強く感じたことは、私達のまちをつくっていく次世代の子ども達の「無限の可能性」です。彼らの力を地域づくりに活かしていくことこそ、新市「石巻市」の「新たな課題」であり、私達NPOに携わるものの「新たな挑戦」となるでしょう。

この春の合併に向けて、いまいちど我々大人も足元の「力」を活かす手法を考える時期に来ているようです。

文責：NPO法人いしのまきNPOセンター
副代表理事 木村美保子



農村部における「求められる市民の力」
大崎・栗原にて地域フォーラム開催される！

NPO地域フォーラム事業
「地域を見つめ直そう 求められる市民の力」
日時 2004年12月18日(土)
場所 宮城県古川合同庁舎
「栗原市 期待される市民の力」
日時 2004年12月19日(日)
場所 築館文化会館
企画団体 NPO法人杜の伝言板ゆるる

みやぎNPOプラザ主催のこのフォーラムは、市町村合併により行政の枠組みが変わっても、住民が地域の課題を自ら解決していく力が必要なこと、その役割として自発的に動こうとする市民活動団体・ボランティア活動の可能性を見つけ出そうという主旨で開催されました。両日ともに、高崎経済大学地域政策学部の櫻井常矢さんをお迎えしての講演の後、古川会場では参加者同士のワークショップが、築館会場ではパネルディスカッションが行われました。



「参加と創造の地域づくり」と題した櫻井さんの話では、自治体の広域化によって、隣近所や自治会あるいは校区といった小さな単位での相互の信頼関係や自治をしっかりと構築することが一層求められると強調。これからの農村部の地域づくりの動きとしては、地域の課題解決にとりくむ志願型のNPO活動が活発化するだろうと提示。また将来的に国や広域自治体と地域とのつなぎ役としても中間支援組織の役割が期待されるとも指摘。分権時代のNPOには、地域課題への専門性と同時に、市民や地域のニーズを柔軟に事業活動に組み込める相互協働の営み(「民-民」関係)が大切であるとお話でした。

古川では合同庁舎に集まった40人近い人たちが、環境・子ども・福祉・医療など6つのテーマで、地域の課題を出すワークショップを開催。自分たちでできることは何か、行政がやることは何かといった視点を話し合いました。参加者からは、「広域化に促した連携の重要性(ワークショップが必要)を感じた」、「他の地域の方とお話や意見交換ができてよかった」などの感想がありました。

栗原では、文化会館大会議室にて開催。NPO法人くりこま高原・地球の

暮らしと自然教育研究所事務局長の馬渡さんからは「子どもの居場所として、農家と連携し社会に適應する支援を行っている」金成町の人形劇サークルくるみ代表の千田さんは「自分たちが楽しんでいること、高められていることが活動継続につながっている」また、NPO法人クリーンせみねの小山さんは「ごみ拾いを通し、町の文化度アップもねらい駅に文庫を設置する活動を展開」と活動を紹介していただきました。40名を越す参加者の中には、地域づくり団体や社会福祉協議会などのほか、議員の参加もありました。アンケートでは「自分たちでやりたいことをやっている活動が地域を潤わせている」、「地域自治組織の必要性・重要性についての理解を深めた」、「自分も明日から動いてみたい」などの感想がありました。

地域が広域化するほど、地域が自ら取り組む課題が多くなり、おのずと市民にその力が求められます。その「気づき」がやがて小さな「動き」に変わり、やがて地域全体を巻き込む大きなうねりになっていくものと思います。

文責：NPO法人杜の伝言板ゆるる
副代表理事 小玉順子



NPO地域協働実践事業



NPO地域フォーラム事業



みやぎNPOプラザ指定管理者公募の申請状況

県は、2005年4月1日から「みやぎNPOプラザ」を指定管理者制度に移行することとし、11月から12月にかけて指定管理者の募集をしたところ、5団体から申請がありました。

指定管理者制度とは？

指定管理者制度は、地方自治体が指定した「指定管理者」に、施設を管理させる制度。従来の管理委託制度制では、委託先は第3セクターや公社など、自治体の出資団体に限られていたが、指定管理者制度では、民間やNPO法人にも委託できるようになったのが最

選考ヒヤリングは、1月6日（木）に実施する予定です。



大の特徴です。公の施設のサービス向上や、コスト削減などが目的で、地方自治法が改正されました。全国の自治体は、2006年9月までにすべての公共施設を指定管理者に業務を委託するか、直営にするかを選ばなければなりません。

「第2回 宮城県NPO等と学校教育との連携推進協議会」開催

12月10日、第2回宮城県NPO等と学校教育との連携推進協議会が、県教育委員会主催で行われました。

文部科学省の研究委嘱校である「宮城広瀬高等学校」から、2年間の研究事業の実践報告があり、この事業成果を基に、今後のNPO等と学校教育との連携・推進の在り方について話し合われました。



宮城広瀬高等学校がNPO等と連携して行った講座や体験活動等は、合計すると66回におよび、

講座内容は環境や福祉にとどまらず、多様な分野において実施されました。生徒の関心は地域社会に向けられ、多くの生徒が様々なボランティア活動に参加するようになりました。NPO等と連携して行った授業で、「生徒とともに教職員も学ぶことが多かった」などの報告がありました。

学校教育において、児童・生徒の生きる力の育成や心の教育の充実、個性の伸長を図るために、NPO等との連携による授業や体験学習は、必要なことだと改めて考えさせられました。今後、NPO等と学校の結びつきが、さらに強まることを期待しています。

1月の催し

| | | | | | |
|-----------|---|--|------------|--------|--|
| 5日 20日 | 木 | 外国人のための無料相談(13:30~) 主催: 仙台国際業務研究会 TEL: 022-715-7881 | 22日 | 土 | 税務・会計研修会 決算申告編(10:00~) 主催: NPO法人経営体質改善サポート宮城 TEL: 022-742-2858 |
| 15日 | 土 | みやぎNPO夢ファンド中間報告会(13:30~) 主催: 宮城県NPO活動促進室 TEL: 022-211-2522 みやぎNPOプラザ町内会(14:00~) | 23日 | 日 | ロボット教室(9:30~) 主催: NPO法人ロボテック TEL: 022-773-3820 無料相談会(13:00~) 主催: 宮城県マンション管理士会 TEL: 022-218-2003 |
| 16日 | 日 | みんなで遊ぶあったかコンサート(13:30~) 主催: せんだいいぐの子ども劇場、癒し打楽器研究会 LARGO、NPO法人杜の伝言板ゆるる TEL: 022-375-3548(せんだい杜の子ども劇場21) | 28日 | 金 | 特別支援教育の動向と課題(13:00~) 主催: NPO法人チャレンジドネットワークみやぎ TEL: 022-256-2801 |
| 21日 | 金 | らくらく会計講座「NPO法人の税務」(13:00~) 主催: みやぎNPOプラザ 問合せ: NPO法人杜の伝言板ゆるる (TEL: 022-791-9323) | 29日 30日 | 土 日 | 災害救援ボランティアコーディネーター(初級)養成講座(9:30~) 主催: 仙台市 TEL: 022-292-7664(NPO法人みやぎ災害救援ボランティアセンター) |

予 告

「商店街とNPOの連携を探る交流会」2/3(木) せんだいメディアテーク (問)宮城県中小企業団体中央会
基調講演: 山田晴義氏 パネルディスカッション: NPO関係者 商店街関係者 TEL/022-222-5560

地域交流会の開催予定 1/22(土)気仙沼 2/5(土)石巻 2/6(日)大河原 3/5(土)古川 (問)みやぎNPOプラザ

みやぎNPOプラザの年末年始の休館は、12/29(水)~1/3(月)です。1/4(火)から、通常通りに開館いたします。

みやぎのNPOに関する情報は、みやぎNPO情報ネットで! <http://www.miyagi-npo.gr.jp/>